



一三第

朝鮮參發第三八一號

字

省軍陸
8.11.27
房官臣大

省軍陸
8.11.29
229
軍事課

省軍陸
8.11.30
受
兵務課

浦潮總領事ノ軍部批難ノ言動ニ関スル件

朝鮮軍參謀長大串敬吉

陸軍次官

柳川平助殿

首題ノ件ニ関シ朝鮮憲兵隊司令
官ヨリ別紙ノ通々報有火タルニ付
送付ス

省軍陸
2
新聞班
3
1

陸
軍

●朝鮮憲高第一三三號

浦潮總領事、軍部批難、言動ニ関スル件
報告「通牒」

昭和八年十二月十七日

朝鮮憲兵隊司令官 岩佐祿郎

渡辺駐浦總事ハ十一月八日敦賀ヨリ天草丸ニテ浦
潮ニ赴任シタルカ船中船客ニ對シ曰サ蘇時局
問題ニ関シ軍部ヲ批難スルカ如キ言動アリタル
狀況左記報告「通牒」ス

左記

最近内地人間ニ日蘇關係ハ相當險惡化シア
 ル如ク流布セラレアルモ事實ハ然ラス蘇國人ハ邦人
 ニ反シ強テ干戈ヲ交ヘントスルカ如キ人種ニアラス
 ル國民ニ對シ日蘇開戦ヲ準備シ一面更ニ一九三
 五、六年ニ於ケル國防ノ重大危機ヲ前提トシ
 陸海協力多額ノ軍事費ヲ豫算ニ計上軍
 備ノ擴充ニ汲々タル眞意邦辺ニアルヤ頗ル疑
 問トスル處ナリ滿洲事變以來軍部ハ國際
 情勢ノ大局ヲ考慮スルコトナク徒ニ強硬的外交
 ヲ主張シ恰モ帝國ノ國策ハ一人軍部ニアリ

トノ觀念ヨリ蘇國ニ對シ桃戰的態度ニ出テアルハ甚タ遺憾トスル処ニシテ萬一日蘇開戰セリトセハ何處迄日本軍ハ進撃シ得ラルヤ露都莫斯科迄攻撃シ赤露ヲ全滅セハ可ナランモ坤潮乃至「ハバロフスク」附近迄攻撃シ得ルノミナリトセハ寧ロ曰蘇開戰ハ為サハルヲ良策トシ平和的外交手段ニ依リ善処スルヲ妥當ナリト信ス云々

發送先

憲司

関憲司

軍参

朝憲高第二三八號

浦潮總領事、軍部批難、言動ニ関スル件
報告「通牒」

昭和八年十二月十七日

朝鮮憲兵隊司令官岩佐祿郎

渡辺駐浦總事ハ十一月八日敦賀ヨリ天草丸ニテ浦
潮ニ赴任シタルカ船中船客ニ對シ曰蘇時局
問題ニ関シ軍部ヲ批難スルカ如キ言動アリタル
狀況左記報告「通牒」ス

左記

最近内地人間ニ日蘇關係ハ相當險惡化シア
 ル如ク流布セラレアルモ事實ハ然ラス蘇國人ハ邦人
 ニ反シ強テ干戈ヲ交ヘントスルカ如キ人種ニアラス
 ル國民ニ對シ日蘇開戦ヲ準備シ一面更ニ一九三
 五、六年ニ於ケル國防ノ重大危機ヲ前提トシ
 陸海協力多額ハ軍事費ヲ豫算ニ計上軍
 備ハ擴充ニ汲ムタル真意邦辺ニアルヤ頗ル疑
 問トスル處ナリ滿洲事變以來軍部ハ國際
 情勢ノ大局ヲ考慮スルコトナク徒ニ強硬的外交
 ヲ主張シ恰モ帝國ノ國策ハ一人軍部ニアリ

トノ觀念ヨリ蘇國ニ對シ桃戰的態度ニ出テア
 ルハ甚タ遺憾トスル処ニシテ萬一日蘇國開戰セ
 リトセハ何處迄日本軍ハ進撃シ得ラルヤ
 露都莫斯科迄攻撃シ赤露ヲ全滅セハ可
 ナランモ浦潮乃至ハバロフスク附近迄攻撃
 シ得ルノミナリトセハ寧ロ曰蘇國開戰ハ為サハ
 ルヲ良策トシ平和的外交手段ニ依リ善処
 スルヲ妥當ナリト信ス
 發送先 憲司 關憲司
 軍參